

カストロ前議長死去

キューバ革命主導

90歳 米と断交半世紀

【ニューヨーク＝東條仁史】ロイター通信が二十六日伝えたところによると、一九五九年の革命以来、社会主義国キューバを半世紀主導してきたフィデル・カストロ前国家評議会議長が死去した。九十歳だった。

五三年から親米政権打倒の武力闘争を開始し、五九年二月に首相に就任。六一年には社会主義路線を宣言し、米国が断交を通告した。六二年、キューバ危機が起きたが、ソ連がミサイルを撤去し危機は回避された。米

国はキューバに対する経済制裁を半世紀にわたって継続したが、両国は二〇一五年に国交を回復した。

カストロ氏は七六年十二月、国家評議会議長に就任。

二〇〇八年二月に実弟のラウル氏に引き継ぐまで、その座にあった。



キューバのフィデル・カストロ
前国家評議会議長＝AP・共同

